

組織名	とよなか都市創造研究所
-----	-------------

1 組織概要

所在地	大阪府豊中市岡町北3丁目13番17号 人権平和センター豊中 3階
TEL	06-6858-8811
FAX	06-6858-8801
URL	https://www.tium-toyonaka-osaka.jp
e-mail	tium@tcct.zaq.ne.jp
設立	2007年4月1日
設置都市等	大阪府豊中市
代表者	上野 晴彦(所長)

2 組織動向

(1) 沿革		
設置経緯	1997年度に任意団体として「豊中市政研究所」が設立された。	
見直しの動向	2007年度に市の内部組織に組み込まれ、市の都市政策に関する調査研究を担う機関となった。	
役割(2019年時点)	<input type="checkbox"/> 調査研究 <input type="checkbox"/> 普及啓発 <input type="checkbox"/> データバンク <input type="checkbox"/> 人材育成	
(2) 組織体制		
設置形態(択一)	<input checked="" type="checkbox"/> 自治体の内部組織 <input type="checkbox"/> 常設の任意団体(提言等を行う会議体型の団体も含む) <input type="checkbox"/> 公益法人(財団法人・社団法人) <input type="checkbox"/> 大学の附置機関 <input type="checkbox"/> 広域連合 <input type="checkbox"/> その他(具体的に:)	
常勤職員数	3人	
うち常勤研究員数	1人	
非常勤研究員数	2人	
専門性確保に関する特徴(複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 専門的な知識を有した研究員の採用 <input checked="" type="checkbox"/> 外部有識者の活用(研究員として採用した者を除く) <input type="checkbox"/> 大学・非営利活動法人等と連携した研究の実施 <input checked="" type="checkbox"/> 設置市の企画部署と連携した研究の実施 <input checked="" type="checkbox"/> 設置市の関係部署と連携した研究の実施 <input type="checkbox"/> その他(具体的に:) <input type="checkbox"/> 特に行っていない	
庶務体制	研究所内にて行っている。	
市民参加、外部連携	なし	
(3) 会計		
会計規模※人件費・間接費(オフィス賃借料、水道光熱費等)は含まない		
2019年度予算	16,163 千円	
2018年度決算	14,746 千円	
2017年度決算	14,352 千円	
自治体の内部組織以外の団体の場合の事業活動収入の主な内訳(多い順に選択)	順位	収入種別
	1位	
	2位	
	3位	
	4位	
自治体の内部組織の場合の事業活動収入の主な内訳(多い順に選択)	順位	収入種別
	1位	設置部局の予算
	2位	
	3位	
	4位	

組織名	とよなか都市創造研究所
-----	-------------

3 活動動向

(1) 活動実績	
定期刊行物	○機関誌(年度1冊刊行) ○研究報告書
(2) 活動のマネジメント状況	
ア テーマ決定 (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 設置市からの要請 <input type="checkbox"/> 外部有識者等からの助言・示唆 <input type="checkbox"/> 貴団体・組織で、設置市の総合計画等に明記された重要課題から選択 <input type="checkbox"/> 貴団体・組織で自ら発案 <input checked="" type="checkbox"/> その他(具体的に: 全庁的な課題調査結果と専門家、市民等からなる運営委員会の助言を参考にしながら、本研究所で設定する。)
イ 情報発信 (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 設置市の議員や幹部職員に、報告や提言を行う <input type="checkbox"/> 設置市の関係部署に、報告や提言を行う <input checked="" type="checkbox"/> 設置市の庁内の広範囲に、成果物を配布する <input checked="" type="checkbox"/> 報告会を実施する <input type="checkbox"/> 日常的活動を、HP・メールマガジン・ニュースレター等で周知する <input type="checkbox"/> その他(具体的に:) <input type="checkbox"/> 特に行っていない
ウ 活動の評価とその反映 (複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 設置市の行政評価制度により評価を受けている <input type="checkbox"/> 運営委員会等、貴団体・組織の運営に関わる機関から評価を受けている <input type="checkbox"/> 外部有識者から評価を受けている <input type="checkbox"/> 報告会・アンケート等の機会を設けて、評価を受けている <input type="checkbox"/> その他(具体的に:) <input type="checkbox"/> 特にそういう機会はない

4 特記事項

研究員の業務分担	各々が調査研究を行うとともに、情報発信、人材育成、関係機関との調整など年度毎に業務を分担している。
研究員の専門性育成の手立て	関係機関の学会等への加入や研究アドバイザーによる研究の助言、シンポジウム等の参加により専門性を高めている。
研究員のキャリアパス等	○常勤職員については人事異動、非常勤職員については論文と面接により選考。 ○キャリアパス例(常勤職員) ・広報広聴課→当研究所→職員研修所
その他	豊中市の地域課題の解決を実践する人材を育成することにより、地域課題の解決を促進し、まちの活性化に資するため、2017年度より「とよなか地域創生塾」を開校した。

5 2019年度に実施した調査研究

調査研究名	調査研究の概要
「豊中市の単身世帯の生活に関する調査研究Ⅱ」	<p>現在、単身世帯(現在誰とも同居せずひとりで暮らしている世帯)は増加傾向にある。未婚率の上昇に伴う壮年期(30～50歳代)の単身世帯の増加も見られ、家族の支え合いに依拠することが困難な単身高齢者が、これまで以上に増える将来が予期される。そこで本調査研究では、壮年単身世帯の現在の生活や、老後の展望などを明らかにし、そのことを通じて、今後どのような課題が生じる可能性があるのか、課題に対してどのような対応が政策的に求められるのかを検討する。</p> <p>https://www.tium-toyonaka-osaka.jp</p>
「豊中市における女性の就労に関する調査研究Ⅰ」	<p>家庭と仕事の両立の難しさをはじめとし、女性の就労には様々な課題がある。このような課題とその背後にある原因を明らかにするために本研究では、豊中市に住む30歳～59歳までの女性に対してアンケート調査を行い、この結果をもとに、30歳～59歳の女性が自らの働き方をどのように認識し、ワーク・ライフ・バランスの実現のためにどのような働き方を望んでいるかについて考えていく。</p> <p>https://www.tium-toyonaka-osaka.jp/</p>
「政策形成における自治体シンクタンクの役割に関する調査研究～とよなか都市創造研究所の事例を中心に～」	<p>とよなか都市創造研究所は、2007年に豊中市の内部組織として設置された自治体シンクタンクである。前身の豊中市政研究所が1997年に市の外郭団体として設置されてから、約20年が経過する中、そのあり方を振り返る必要がある。本報告書では、本研究所を事例として、これまでの成果と課題を整理する中で、自治体の政策形成における自治体シンクタンクの役割を考える。</p> <p>https://www.tium-toyonaka-osaka.jp/</p>